



# 2023年度日本臨床衛生検査技師会 中四国支部医学検査学会 (第56回)

## 「突破」～社会を支える技術と人間力～

### 2023年9月16日<sup>土</sup>・17日<sup>日</sup>

**会場** 愛媛県県民文化会館

**学会長** 高村 好実 愛媛県臨床検査技師会 会長

**実行委員長** 井上 信行 愛媛県立中央病院 検査部

主催事務局 ▶ 愛媛県臨床検査技師会 〒790-0002 愛媛県松山市二番町3丁目10-6 村上ビル3階B  
TEL : 070-5515-8417 FAX : 089-909-3570

運営事務局 ▶ 株式会社メッド 〒701-0114 岡山県倉敷市松島1075-3  
TEL : 086-463-5344 FAX : 086-463-5345 E-mail : jamt-cs2023@med-gakkai.org



## 学会長挨拶



2023年度日本臨床衛生検査技師会  
中四国支部医学検査学会(第56回)  
学会長 高村 好実  
(愛媛県臨床検査技師会 会長)

この度、2023年度日本臨床衛生検査技師会中四国医学検査学会(第56回)を、「突破」～社会を支える技術と人間力～のテーマのもと愛媛県臨床検査技師会が担当して開催いたします。会期は令和5年9月16日(土)・17日(日)の両日、会場は松山市の愛媛県民文化会館において対話ができる現地開催としております。翌18日(月)は祝日ですので“ゆっくりできる”日程のなかで、“あの頃の学会”や“いまの学会”を楽しみながら日頃の成果を存分に出していただける場にしたいと思っております。

様々な出来事が起きている2020年代・・・DXやIoTなどデータヘルス社会やAI社会への推進とともに、人口減少や都市機能や病院機能の縮小に向けた再編など、次の半世紀後の課題解決に取り組んでいく時代でもあります。医療や臨床検査業界においても出来事は「静波」「荒波」「絶好機」「忍耐期」にもなるでしょう。テーマの「突破」・・・この言葉を胸の内で繰り返していただければいかなる時も挑戦の日々となり、新たに得た検査技術や知識が人間力を育てて社会を支えていく人材となることができるものと期待しております。

中四国支部医学検査学会の開催が9年ぶりの文学の町「松山」。日本最古の「道後温泉」、築400年の「松山城」、「坊ちゃん列車」など守り抜いてきた“歴史の美”があります。また、愛媛には観光列車「伊予灘ものがたり」や、「しまなみ海道」サイクリングなど新時代の“体感の動”があります。この学会とともに是非“愛顔(えがお)溢れる愛媛県”も満喫していただきたいと思えます。

学会開催に関係いただくすべての皆様方にご協力やご支援をお願い申し上げますとともに、より多くの皆様方が日々の成果をたくさん発表していただき、新感覚「突破する学会えひめ」へ多くの皆様方がご参加いただきますよう心よりお願い申し上げます。

## 開催概要

### 会 期

2023年9月16日(土)・17日(日)

### 会 場

愛媛県県民文化会館

〒790-0843 愛媛県松山市道後町2-5-1

TEL：089-923-5111

### テーマ

「突破」～社会を支える技術と人間力～

### 一般演題登録期間

2023年4月3日(月)～5月17日(水) 正午まで

### 事前参加登録期間

2023年5月1日(月) 正午 開始予定

### 宿泊申込について

本会での用意の予定はございません。各自で宿泊予約をお取りいただきますよう、お願いいたします。

※3連休での開催となっておりますので、早めの宿泊予約をご推奨いたします。

### 学会参加費

【会 員】5,000円

【非会員】15,000円

【学 生】無料

### 情報交換会

実施予定です

特別講演

今年ぜひお伝えしたいこと  
「コロナ第8波までの振り返り」  
「健康寿命の延伸について」

村上 博

医療法人立命会 村上循環器科 院長

愛媛県医師会 会長

松山市社会福祉協議会 会長



学会長講演

私の突破 「その時の空…」

高村 好実

第56回中四国支部医学検査学会 学会長

(一社) 愛媛県臨床検査技師 会長

(一社) 日本臨床衛生検査技師会 理事／中四国支部長

(一社) 日本認知症予防学会 理事

(一社) 日本予防医療推進機構 代表理事

多摩大学医療・介護ソリューション研究所フェロー (MBA)



文化講演

秘 近日公開

## 部門企画

### 生物化学分析部門

#### 【生物化学分析担当者のスキルアップを目指して ～資格取得とその活用～】

生物化学分析領域においては自動化が進み、技師の役割は得られた検査結果を用いたチーム医療への参画や検査結果の信頼担保に比重が置かれるようになってきている。そこで、臨床化学・免疫血清に関わる各資格取得者の講師の先生方に、自施設の活動内容などを講演して頂くことで、今後の資格取得の勸奨や自施設に活用できる取り組みを共有し、未来に向けて突破できるきっかけになることを期待する。

### 臨床一般部門

#### 【一般検査と生理検査のタッグで腎・泌尿器疾患に立ち向かう！】

各部門・各検査室の垣根を突破して連携し、それぞれの専門性と技術力を生かすことが求められている。本シンポジウムでは臨床一般部門と臨床生理部門それぞれの見え方・考え方で腎・泌尿器疾患にアプローチすることに加え、連携を行う事で臨床へのさらなる貢献につながることを期待する。

シンポジスト1：腎・泌尿器領域における一般検査での見え方・考え方

シンポジスト2：腎・泌尿器領域における生理検査での見え方・考え方

シンポジスト3：一般検査と生理検査の連携について

### 臨床血液部門

#### 【他部門から見た血液疾患鑑別のポイント ～部門の垣根を突破～】

血液疾患鑑別には、血液検査部門の結果だけでは気付けない疾患が存在するため、様々な部門の検査の知識が必要である。本シンポジウムでは、他部門のエキスパートの先生方の診断における視点・着目点を共有し学ぶことで、より迅速で正確な検査結果へとつながると考える。参加者が、各施設で多角的な視点で検査に臨み血液疾患鑑別の一助になることを期待する。

### 臨床微生物部門

#### 【薬剤耐性菌の動向・検査状況を知る】

細菌検査を行っている施設では何らかの薬剤耐性菌が検出されている状況と考えられる。感染対策上も問題となる薬剤耐性菌の動向を知ること、各施設での薬剤耐性スクリーニング試験・確認試験の検査体制等を知ること、自施設の規模・検出状況を考慮しどこまで取り入れることが必要なのか考える機会となり、感染予防や対策の突破口となることを期待する。

## 輸血細胞治療部門

### 【疑問解決！Q&Aを業務に活かす】

輸血部門は、臨床、試薬・機器メーカー、血液センターなど施設内外様々な場所とつながりのある部門である。良好な協力関係を築き、お互いの能力を最大限に発揮することが、安全な輸血の実施には不可欠であり、問題解決力や日々のコミュニケーション能力の向上が疑問解決へ繋がると思われる。今回は日々の疑問解決をテーマとし、様々な立場からのご発表で学習する習慣や積極的な業務改善の取り組みを共有し、さらなるサービスの質向上への突破口となるよう期待する。

## 病理細胞部門

### 【中四国で取り組もう！病理検査の品質保証 ～英知を集結し、課題を突破せよ～】

ゲノム医療や遺伝子検査の普及にともない、病理検査の品質保証がより求められる時代になった。しかし中小規模施設では人材不足や設備面などで様々な課題があるのが現状である。そこで、病理の品質保証について精度管理から人材育成まで様々な施設の取り組みや課題について共有し、施設格差の改善や自施設の品質向上に役立てて頂きたい。

## 染色体・遺伝子部門

### 【遺伝子・染色体の基礎と臨床への応用】

遺伝子検査は、新型コロナウイルス感染症の診断の1ツールとして臨床現場にも広く導入された。それまでは、がん遺伝子など特殊な分野で専門的に実践されてきたが、今後は外来機能のみの医療機関でもさらに普及が進む可能性がある。本シンポジウムでは遺伝子・染色体の基礎から血液・病理・微生物分野の応用へと展開する。基礎の重要性を確認するとともに、臨床現場における最新の技術や知見を発表いただく予定である。

## 臨床生理部門

### 【スペシャリストはここを見逃さない～結果の解釈を中心に～】

生理機能検査に求められる検査目的も年々多岐にわたっている。検査のスペシャリストだからこそできる結果の解釈から考える次の一手が、患者の利益に繋がることもある。スペシャリストがどのように検査に向き合っているかを新人技師や経験の浅い技師に伝え、現状からの突破に繋がる機会になることを期待する。

## 在宅認知症・糖尿病分科会合同部門

### 【コロナ禍の経験を活かした糖尿病患者や認知症患者との関わり合い方について考える～血糖コントロールでの認知症重症度評価の導入について～】

新型コロナウイルスの感染拡大で検査技師も各分野で業務に制限を受けてきた。今回、糖尿病チームの一員である検査技師の感染拡大前後の活動にどのような変化があったか情報を共有したい。その上で、糖尿病が大きなリスク要因になる認知症にも着目し、血糖コントロールのために、認知症の重症度評価に検査技師が参画出来ることを知り、現状の把握と新たな取り組みについて話し合うことによって、今後の両分野での活躍のきっかけとなることに期待したい。

## 事前参加申込方法

### 1. 事前参加登録について

日臨技会員専用サイトより学会・情報交換会の事前参加登録が可能です。

事前参加登録をされた方は、ランチョンセミナーの事前申し込みが可能となりますが、準備中のため、ランチョンセミナーの申込開始日については学会ホームページでお知らせします。

### 2. 事前参加登録期間

2023年5月1日(月) 正午 開始予定

### 3. 学会参加費

参加区分	事前参加費	当日参加費
日臨技会員	5,000円	5,000円
賛助会員 関連学会・団体会員	—	5,000円
非会員	—	15,000円
学生・大学院生 (学部学生のみ)	—	無料

### 4. 事前参加登録方法

- 1) 学会ホームページから「事前参加登録」ページへお進みください。
- 2) 「日臨技会員専用サイト」ボタンをクリックしてください。
- 3) 登録画面上の項目に沿って必要事項を選択・記入し、登録してください。
- 4) 登録されたメールアドレスへ自動メールが送信されますので、必ず内容をご確認ください。
- 5) 学会参加費の支払い手続きを行ってください。

### 5. 当日参加受付

当日参加受付は、愛媛県県民文化会館 本館 1F ロビーにて行います。

### 6. 情報交換会

実施予定です。

### 7. お問い合わせ先

2023年度日本臨床衛生検査技師会  
中四国支部医学検査学会 (第56回)  
運営事務局

株式会社メッド

〒701-0114 岡山県倉敷市松島1075-3

TEL : 086-463-5344 FAX : 086-463-5345

E-mail : jamt-cs2023@med-gakkai.org

## 一般演題申込方法

一般演題を登録される場合は以下の要領を熟読のうえお申込みください。

### 1. 演題受付期間

2023年4月3日(月)～5月17日(水)正午まで

### 2. 一般演題申込資格

#### 【筆頭発表者】

#### 1) 日臨技会員・賛助会員

日臨技会員または中四国支部9県いずれかの賛助会員については、無料で発表できます。

#### 2) 医療業界に籍を有する有資格者の非会員

会員外扱いとなり1演題につき5,000円を申し受けます。

#### 3) 臨床検査技師の資格を有し学校に在籍する学生会員外扱いとなり1演題につき5,000円を申し受けます。

#### 【共同発表者】

- ・ 共同発表者も原則として会員とし、7名以内とします。
- ・ 一般演題申込時に共同発表者の会員番号が記入されていない場合は非会員とみなし、1名につき5,000円を申し受けます。
- ・ 非会員が複数の演題を共同発表した場合は一律5,000円とし、演題登録の早い筆頭発表者へのご請求となります。

### 3. 一般演題申込方法

- ・ 日臨技総合情報システム(JAMTIS)を利用したWebからの申込みにて受付いたします。抄録登録方法には、以下の2種類がありますので、いずれかの方法で登録してください。

#### ■テキスト入力方法

従来からのWeb入力方法

#### ■ファイルアップロード方式

ダウンロードしたテンプレートを用いて作成した抄録をアップロードする方法

- ※画像や特殊文字を使用して入力する場合は、【ファイルアップロード方式】を選択してください。

- ・ 学会ホームページの「演題募集」ページ内にある『一般演題登録：日本臨床衛生検査技師会会員の方』をクリックしてください。

「演題登録・修正方法について」をご確認いただき、演題登録を行ってください。

- ※E-mailアドレスは演題採否等、以後の連絡に使用しますので、特に注意して登録してください。

- ※JAMTISから登録できない場合は、運営事務局にご連絡ください。

### 4. 原稿受領等の通知について

- ・ 原稿受領等の通知はE-mailで行います。
- ・ 登録後1週間を経過しても受領通知が届かない場合は、運営事務局にお問合わせください。

### 5. お問い合わせ

2023年度日本臨床衛生検査技師会

中四国支部医学検査学会(第56回)

運営事務局

株式会社メッド

〒701-0114 岡山県倉敷市松島1075-3

TEL:086-463-5344 FAX:086-463-5345

E-mail:jamt-cs2023@med-gakkai.org



## 演題発表

### 1. 発表原稿(プレゼンテーションデータ)の作成について

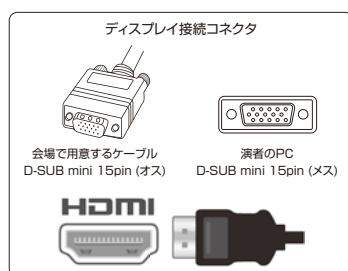
#### 1) データ持込による発表の場合

- ・ フォントは文字化け、レイアウト崩れを防ぐため下記フォントを推奨いたします。  
MSゴシック、MSPゴシック、MS明朝、MSP明朝、Arial、Century、Century Gothic、Times New Roman
- ・ データはUSBメモリでお持ち込みください。保存したデータが、他のPCでも読み込めることを事前にご確認ください。また、発表データのファイル名は〈演題番号(半角英数字) + 発表者氏名〉としてください。

例) A-1 愛媛太郎

#### 2) PC本体持込みによる発表の場合

- ・ Macintoshで作成したもの、動画・音声を含む場合は、必ずご自身のPC本体をお持ち込みください。
- ・ 会場で使用するPCケーブルコネクタの形状は、D-SUB mini 15pinまたはHDMIです。(図参照) この出力端子を持つPCをご用意いただくか、この形状に変換するコネクタを必要とする場合には必ずご持参してください。電源ケーブルもお忘れなくお持ちください。



- ・ 再起動をすることがありますので、パスワード入力は“不要”に設定してください。
- ・ スクリーンセーバーならびに省電力設定は事前に解除しておいてください。
- ・ 動画データ使用の場合は、Windows Media Playerで再生可能であるものに限定いたします。
- ・ PCをご持参された方は発表終了後、降壇時に各会場のPCオペレーター席にてPCをお受け取りください。

### 2. 発表原稿(プレゼンテーションデータ)の受付について

【受付日時】9月16日(土) 8:30~16:00(予定)

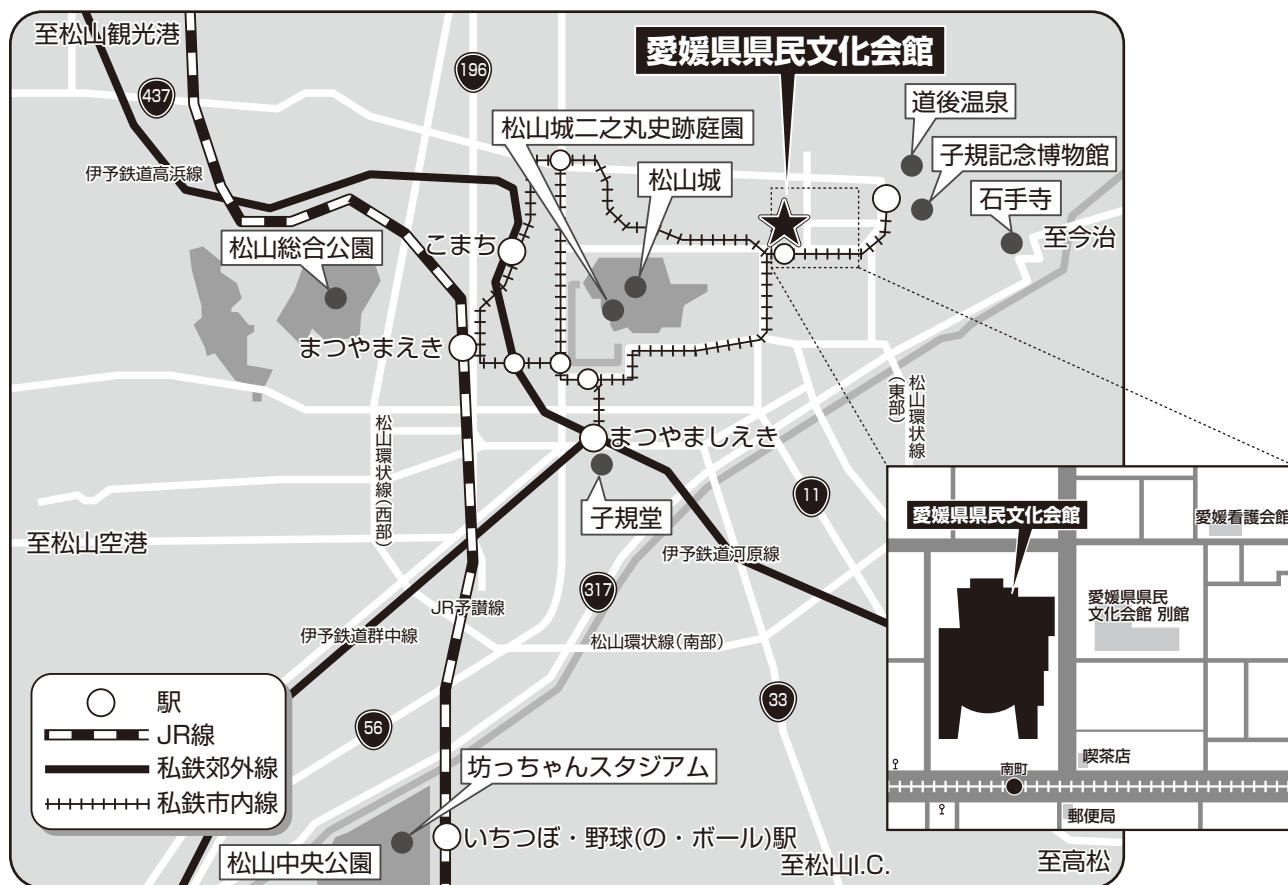
9月17日(日) 8:30~14:00(予定)

- ・ セッション開始30分前までに、発表施設内のPC受付にてデータの試写を行ってください。
- ・ 発表者自身が発表原稿受付のパソコンで動作確認を行ってください。
- ・ データの修正はできませんのでご了承ください。
- ・ データの受付媒体は、USBメモリーのみです。ウイルスチェックを必ず済ませ、万が一に備えてバックアップデータを用意してください。
- ・ USBメモリーには、発表原稿以外のデータは入れないでください。
- ・ 発表データは学会終了後、事務局で責任を持って消去いたします。

### 3. 演題発表について

- ・ □演発表はすべてPC発表(PowerPoint)のみといたします。
- ・ 発表データは、MicrosoftのPowerPointで作成してください。
- ・ PowerPointの「発表者ツール」は使用できません。発表用原稿が必要な方は各自ご準備ください。
- ・ 各会場のプロジェクターは1台です。パソコンの操作は演者自身が行ってください。
- ・ 一般演題の発表時間は、発表6分、質疑3分の計9分です。
- ・ 発表時間は□演を開始したときからではなく「座長による演題紹介が開始されたとき」とします。
- ・ 発表終了1分前に黄色ランプが点灯し、終了時に赤色ランプが点灯します。円滑な進行のため、時間厳守でお願いします。
- ・ 演題発表要領は変更される場合もあります。演題発表者は運営事務局からの案内および学会ホームページで確認してください。

## アクセス



### JR松山駅から

- ・伊予鉄市内電車(道後温泉行)で約21分 南町・県民文化会館前で下車
- ・伊予鉄バス(道後温泉駅前行)で約20分

### 伊予鉄松山市駅から

- ・伊予鉄市内電車(道後温泉行)で約17分 南町・県民文化会館前で下車
- ・伊予鉄バス(道後温泉駅前行)で約15分

### 松山空港から

- ・伊予鉄バス(道後温泉駅前行)で約40分
- ・リムジンバスで約30分

### 松山観光港から

- ・伊予鉄バス(道後温泉駅前行)で約45分
- ・リムジンバスで約35分 南町・県民文化会館前で下車

※駐車場 295台(地下91台、北84台、西120台) 30分ごとに100円(大型200円)

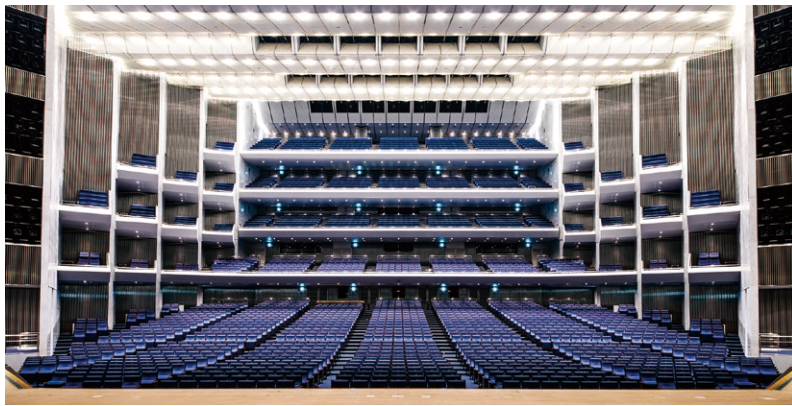
※所用時間は目安です。交通事情により前後することがあります。

駐車場には限りがあります。できるだけ公共の交通機関をご利用ください。また、周辺施設への無断駐車は、ご遠慮ください。

# 愛媛県県民文化会館



外観



メインホール

---

## お問い合わせ

2023年度日本臨床衛生検査技師会中四国支部医学検査学会(第56回)運営事務局  
株式会社メッド

〒701-0114 岡山県倉敷市松島1075-3

TEL : 086-463-5344 FAX : 086-463-5345 E-mail : [jamt-cs2023@med-gakkai.org](mailto:jamt-cs2023@med-gakkai.org)